

弊社サイトのご案内



旅行プランのオンライン検索・予約のほか、充実した関連サービスをお届けしています。

<http://www.knt.co.jp>



会社案内・IR情報ページでは、経営情報、各種IR情報をご覧いただけます。

<http://www.knt.co.jp/kouhou>



実績と信頼の
国内パッケージツアー
「メイト」



多彩なプランと快適な
海外パッケージツアー
「ホリデイ」



次は、もっと自由に！
航空券と宿泊の選択組み合わせ
海外旅行ダイナミックパッケージ
「旅せるふ」
<http://tabiself.com>



訪れた地での幅広い過ごし方を
提案、紹介するサイト
「旅の発見」
<http://tabihatsu.jp>

免責事項

本株主通信に掲載している将来に関する予想については、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、異なる場合があることをご承知おきください。

近畿日本ツーリスト株式会社

株 主 通 信

第72期 第2四半期連結累計期間
(平成21年1月1日～平成21年6月30日)

INDEX

株主の皆さまへ	1
連結財務諸表	2
TOPICS	3
「!」を創造する舞台裏	4
企業理念／ブランドステートメント／会社概要	5
株主メモ	6

knt!
近畿日本ツーリスト

カタチにします。ときめき・キラメキ・おもてなし

knt!

株主の皆さまへ



代表取締役社長

吉川 勝久

株主の皆さまには益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび第72期事業年度における第2四半期を終了いたしましたので、第2四半期連結累計期間（平成21年1月1日から平成21年6月30日まで）の業績をご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間の旅行業界は、景気悪化に伴う先行き不安感から個人消費は低迷し、企業でも経費削減策として業務出張の自粛が進むなど、旅行市場を取り巻く情勢は一段と厳しさを増しました。加えて、ゴールデンウィーク以降の新型インフルエンザの影響を受け、国内外の需要が大きく減少いたしました。

このような情勢のもとで、当社は前年に実施した事業再編を土台として、各事業ユニットが専門性、独自性、効率性を徹底的に追求し、収益力の改善を目指しました。個人旅行の中心である「メイト」「ホリデイ」におきましては、お客様の声にこだわった競争優位性のある商品を提供し、団体旅行におきましては、教育、自治体、法人等を中心に、企画提案

等を基本とした地域密着型営業の徹底に加え、全国横断組織の強みを生かした展開を図りました。また、イベント関連旅行では、第30回の記念開催となった「まつりインハワイ」が、昨年を大きく上回る3,500名以上の参加となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの営業収益は287億70百万円で、誠に遺憾ながら、営業損失は44億44百万円、経常損失は42億55百万円となり、特別損失に訴訟和解金7億89百万円、法人税等調整額に29億83百万円を計上したため、四半期純損失は83億3百万円となりました。

今後につきましては、新型インフルエンザの影響で、延期・取消しをされたお客さまを呼び戻すための企画提案と継続的な営業を行うとともに、昨年来の業界を取り巻く環境の激変に対応するため、中期経営計画を修正し、販売、費用両面において構造革新を迅速に進めてまいります。

なお、岡山市所在の市立中学校の修学旅行について、本年7月10日に公正取引委員会から排除措置命令を受け、これを応諾することといたしました。株主の皆さまにご心配をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。今回の事態を厳粛に受け止め、改めて全社を挙げてコンプライアンス体制の充実・強化と一層の意識向上を図り、再発防止の徹底に努力してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも何卒倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年8月

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	第72期 第2四半期末 平成21年6月30日現在	科目	第72期 第2四半期末 平成21年6月30日現在
資産の部		負債および純資産の部	
流動資産	71,514	流動負債	86,401
現金・預金	28,489	短期借入金	311
預け金	8,000	営業未払金	8,184
受取手形及び営業未収金	15,064	未払金	4,433
商品	20	未払法人税等	217
団体前払金	10,052	預り金	24,103
その他	9,948	未精算旅行券	34,504
貸倒引当金	△60	団体前受金	12,401
固定資産	26,805	賞与引当金	249
有形固定資産	7,493	その他	1,995
建物(純額)	2,171	固定負債	8,875
土地	4,436	退職給付引当金	550
その他(純額)	885	旅行券等引換引当金	2,388
無形固定資産	4,518	その他	5,936
のれん	695	負債合計	95,276
その他	3,823	株主資本	2,464
投資その他の資産	14,793	資本金	7,579
投資有価証券	6,351	資本剰余金	4,930
その他	9,144	利益剰余金	△9,887
貸倒引当金	△702	自己株式	△158
資産合計	98,319	評価・換算差額等	317
		その他有価証券評価差額金	148
		繰延ヘッジ損益	313
		為替換算調整勘定	△144
		少数株主持分	260
		純資産合計	3,043
		負債および純資産合計	98,319

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	第72期第2四半期 累計期間 平成21年1月1日から 平成21年6月30日まで
営業収益	28,770
営業費用	33,215
営業損失	4,444
営業外収益	284
受取利息	193
受取配当金	50
持分法による投資利益	8
その他	31
営業外費用	95
支払利息	47
為替差損	44
その他	3
経常損失	4,255
特別損失	995
訴訟和解金	789
固定資産除却損	76
その他	128
税金等調整前四半期純損失	5,251
法人税、住民税及び事業税	128
法人税等調整額	2,983
少数株主損失	60
四半期純損失	8,303

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

国連の友Asia-Pacificと提携

このたび当社は、国連関連機関「国連の友Asia-Pacific (Friends of the United Nations Asia-Pacific、以下 FOUNAP)」と提携することで基本合意し、平成21年4月24日、国連本部で調印しました。

FOUNAPIは、平成20年4月に設立された国連関連機関で、アジア太平洋地域における国連活動の啓発を目的とした環境活動や人権活動を行っています。国連機関と旅行会社の提携は、今回が世界初となります。

今後の主な提携活動としては、国連活動に賛同いただける方に向けた募金箱のKNTツーリスト店頭窓口への設置や、アジアにおける文化的イベントなどの共催、修学旅行における環境学習の実施などを予定しています。今回の調印をきっかけに、アジア太平洋地域の人々の相互理解を深めることはもちろん、FOUNAPと力を合わせて、未来を担う子どもたちにさらなる「平和の文化」を伝えてまいります。



調印の様子
吉川社長(左)とノエル代表(右)



KNTグループは国連活動を応援しています。

「ツーリスト旅行券」が
エコポイント交換商品に採用

全国の近畿日本ツーリスト支店・代理店、KNTツーリスト営業所の窓口でお使いいただける「ツーリスト旅行券」が、平成21年6月19日、エコポイント交換対象商品に採用されました。「ツーリスト旅行券」には1,000円券、5,000円券、10,000円券の3種類があり、エコポイント1点につき1円換算で交換することができます。

また、環境保護への取り組みとして、お客さまがエコポイントを「ツーリスト旅行券」に交換されるたび、旅行券10,000円につき110円を「国連の友Asia-Pacific」を通じて日本の自然を守る活動を行う団体などへ寄付します。これにより、お客さまはエコポイントを「ツーリスト旅行券」へ交換していただくことで、環境保全に貢献していただけます。

今後も当社は、旅行を通じた地域経済の活性化と環境保護に貢献してまいります。



エコポイントとは？

エコポイントとは、省エネ性能に優れた家電品を購入すると付与されるポイントで、さまざまな商品やサービスと交換することができます。対象となるのは、「エアコン」「冷蔵庫」「地上デジタル放送対応テレビ」のうち一定の基準を満たす家電品で、これらを購入すると、商品に応じてポイントが付与されます。

また、ツーリスト旅行券のご利用範囲は、当社グループが企画する国内・海外のパッケージ旅行(メイト、ホリデイなど)をはじめ、JR、私鉄乗車券、国内・国際航空券、宿泊券、観光施設などの入場券など、当社が扱う商品をご購入いただく際に、現金のお支払いと同様に使用いただけます。(ツーリスト旅行券は、トラベラーズチェック、旅行券、B'wayなどの商品券、JR回数券、書籍、物品などにはご利用いただけません。)

創造する舞台裏 Vol.3

を

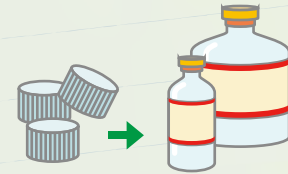
CS(顧客満足)向上セミナー

企業ブランド名「KNT」がスタートして3年目
世界各地でお客さまをおもてなし

KNTでは、お客さまの視点に立った企業経営の推進とCSマインドの醸成を目的として、平成18年からKNT・グループ社員に向けたCS向上セミナーを実施しています。これまでに計31回実施し、延べ約1,500名の社員が参加しました。現在では海外事務所スタッフもセミナーに参加しており、日頃接点のない社員同志の交流にもつながっています。参加者は、このセミナーを通じてCSの精神を学び、そこで得た「気づき」を業務に活かしています。

CSリーダーの先導でエコキャップ運動に参加！

CSリーダーの先導で、平成20年9月からエコキャップ運動に参加しています。これは、ペットボトルのキャップを集めてリサイクル業者に売却し、その収益で途上国の子どもたちにワクチンを送るという運動で、NPO法人エコキャップ推進協会が実施しています。CSリーダーの積極的な呼びかけもあって、今までに合計131,657個のキャップが集まり、164人分のポリオワクチンを子どもたちに届けることができました。



CSは自分の人生を豊かにするものだ！
まずは主体的に取り組むことから始めます。

自分の会社の魅力って何だろう？
「社員が元気！」
「ユニーク」etc.

Close up

KNT沖縄では、平成21年5月に、独自のCSセミナーも開催。割り箸を使ったスマイルトレーニングや電話応対講習などを実施しました。



お辞儀は「ありがとうございます」と頭、首、背中が一枚の板になるように！

さあ笑顔トレーニングです！割り箸を噛んで「イー！」と言っている感じでどうぞ！

はい KNT沖縄 ○○でございます！

企業理念

「KNTは世界中の人々の出会いと感動を創造し、
笑顔あふれる社会の実現にチャレンジしていきます。」

企業ブランド名



企業ブランドロゴマーク



ブランドステートメント

私たちは、お客さまにたくさんの「!」をお届けし、感動・笑顔・信頼の「物語」を創造していきます。
お客さまの 感動×笑顔×信頼＝私たちの喜びです

- | | |
|---------------------------------------|--|
| 1.私たちは、お客さまの声に徹底的にこだわります! | 4.私たちは、ネットワークとチームワークで一丸となって、
お客さまの信頼に応えます! |
| 2.私たちは、明るい笑顔とまごころをもってお客さまに
接します! | 5.私たちは、熱意と創意をもって常に新しいことに挑戦します! |
| 3.私たちは、安全を優先し、お客さまに安らぎと安心を
お届けします! | 6.私たちは、社会の一員であることを認識し、事業活動を
通じて国際交流、環境保全、社会貢献に努めます! |

会社概要

商号	近畿日本ツーリスト株式会社	取締役および監査役			
設立	昭和22年5月	取締役会長	山口 昌紀	取締役	向山 秀昭
創立	昭和30年9月	代表取締役社長	吉川 勝久	取締役	西野目 信雄
本社	東京都千代田区神田松永町19番の2	代表取締役副社長	瀬戸 恒好	取締役	辻本 博圭
	電話番号 (03)3255-7115	専務取締役	馬越 俊司	取締役	伊藤 淑雄
		専務取締役	越智 良典	取締役	岩橋 伸行
資本金	7,579百万円	常務取締役	斎藤 彰英	監査役(常勤)	岡崎 尋幸
発行済株式総数	96,175,121株	取締役	市井 正之	監査役(常勤)	大塚 政夫
		取締役	遠藤 昭夫	監査役	岸田 雅雄
		取締役	小川 亘	監査役	植田 和保

株主メモ

単元株式数	1,000株	上場証券取引所	東京・大阪 市場第1部
事業年度	1月1日から12月31日まで	株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
基準日	定時株主総会関係 12月31日 期末配当支払株主確定関係 12月31日 中間配当支払株主確定関係 6月30日 その他 あらかじめ公告する日	特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
定時株主総会	3月中	同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話番号 (0120) 232-711 (フリーダイヤル)
公告方法	電子公告 http://www.knt.co.jp/kouhou/e-koukoku ただし、電子公告によることができない場合は、 日本経済新聞に掲載		

株式に関するお手続きについて

特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先	
<ul style="list-style-type: none"> ■特別口座から一般口座への振替請求 ■単元未満株式の買取請求 ■住所・氏名等のご変更 ■特別口座の残高照会 	特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話番号 (0120) 232-711 (フリーダイヤル)
<ul style="list-style-type: none"> ■郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ■支払期間経過後の配当金に関するご照会 ■株式事務に関する一般的なお問い合わせ 	株主名簿管理人	<p>[手続き書類のご請求方法]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■音声自動応答電話によるご請求 (0120) 244-479 (フリーダイヤル) ■インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufg.jp/daikou/

証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先	
<ul style="list-style-type: none"> ■郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ■支払期間経過後の配当金に関するご照会 ■株式事務に関する一般的なお問い合わせ 	株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話番号 (0120) 232-711 (フリーダイヤル)
■上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。	